

エネルギー地産地消事業化モデル支援事業(新エネ有効活用モデル) 認定事業計画

芽室町

芽室町家畜ふん尿処理におけるバイオガス活用の検討

【認定事業者】

家畜ふん尿処理施設検討コンソーシアム

【事業費】

総事業費 9,991,100円 (うち道補助 9,991,100円)

【計画内容】

バイオガスプラントで乳牛ふん尿の液分を原料としてガスを精製し、プラント自家消費用の発電・熱ボイラー燃料として活用するとともに、ガスの余剰分を外部に販売する「酪農・畑作地域に適したFITに頼らないエネルギーの地産地消型自立システム」を実現するために、事業モデルの構築やシステム設計を行う。



士幌町

士幌町 地域マイクログリッド構築事業

【認定事業者】

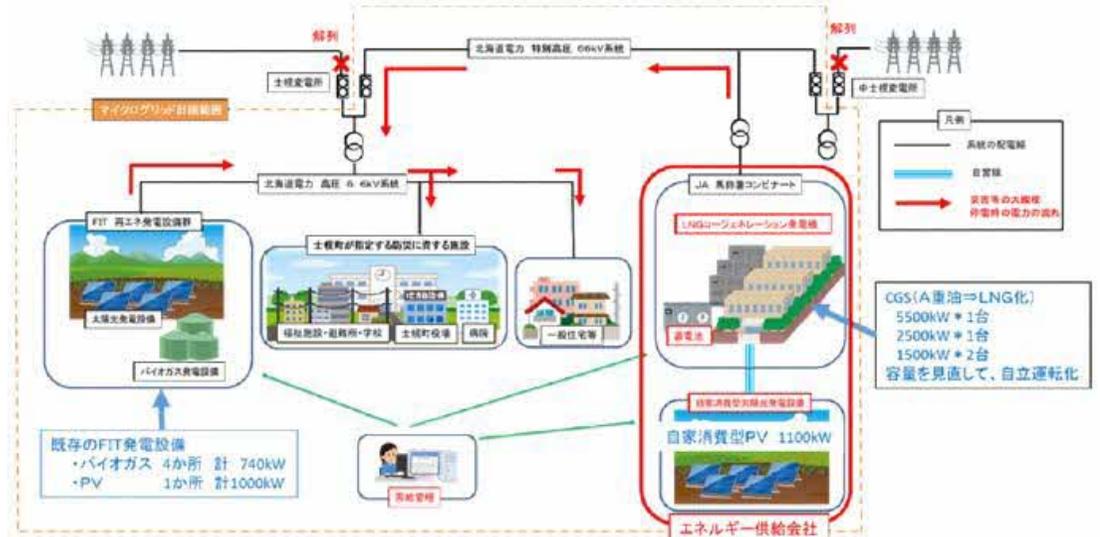
士幌町地域マイクログリッド構築コンソーシアム

【事業費】

総事業費 18,613,303円 (うち道補助 1,821,278円)

【計画内容】

平常時のCO2削減と、非常時の電力供給を図るため、町内の既存のFIT電源(太陽光発電、バイオガス発電)やコージェネレーション発電、新設のFITバイオガス発電を利用したマイクログリッド構築に向けた調査・設計を行う。



エネルギー地産地消事業化モデル支援事業(新エネ有効活用モデル) 認定事業計画

大樹町

家畜ふん尿由来の液化バイオメタンを利用したエネルギー地産地消モデル化事業

【認定事業者】

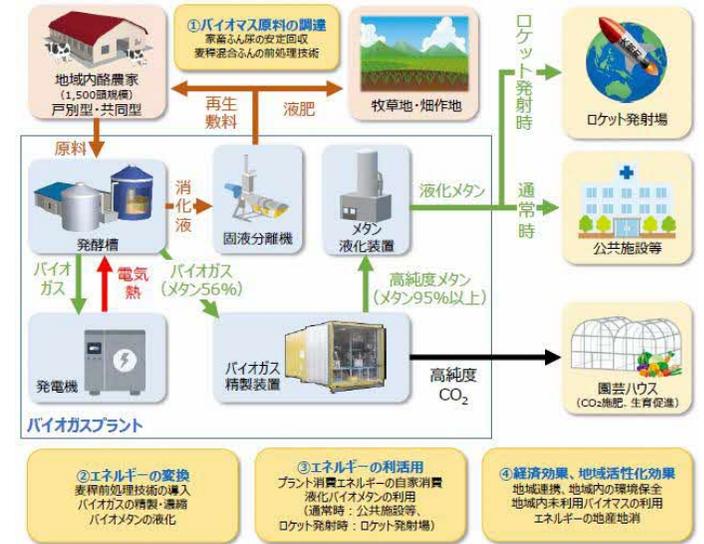
大樹町

【事業費】

総事業費 10,000,000円 (うち道補助 10,000,000円)

【計画内容】

地域内の乳牛ふん尿から生成したバイオガス中のメタンを精製・濃縮・液化して、公共施設や民間企業等に供給するほか、ロケット燃料として活用することを検討し、未利用バイオマスから創出されたエネルギーを地域に還元する「エネルギーの地産地消モデル」の基本計画を策定、事業可能性評価を行う。



エネルギー地産地消事業化モデル支援事業(新エネ有効活用モデル) 募集内容 等

系統制約が生じている地域の新エネルギーの導入を促進するため、地域ネットワークの整備やFITに頼らない需給システムの構築などにより新エネルギーを有効活用するモデルとなる取組に対し支援を行う。

【補助率】 定額(10/10以内)、限度額1,000万円

【補助対象事業】 ① 有効活用の手法検討 ② 有効活用の実証

【事業期間】 単年度内に執行が完了する事業

※対象事業例

- 既存系統から遮断した配電線や自営線等の活用により小規模な送配電ネットワークを整備する取組
- 近隣施設で電気・熱を併給するシステムを構築する取組